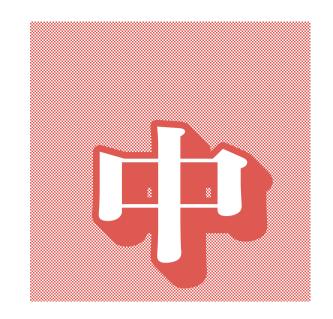
### 令和7年度







## JA研究獎励

JA全中では、JAに関する研究を振興・奨励するため、下記の課題について研究しようとする方に対して、研究費の一部を助成します。ふるってご応募下さい。

### 特別研究課題

#### ①「農業所得の増大と地域の活性化」を図るJAの戦略的行動について 【解題】

第30回JA全国大会では「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力~協同活動と総合事業の好循環~」を主題・副題に挙げている。

社会的な潮流や要請に対応し、農業所得の増大、安全・安心な国産 農畜産物の安定供給へのさらなる挑戦とともに、地域社会における 生活基盤・コミュニティの維持・持続的発展に取り組む必要があるが、 こうした戦略的な取り組みについて、提言いただきたい。

#### ② 現代社会における農業協同組合(JA)の存在意義と役割について 【解題】

国連が令和7年を二度目の国際協同組合年(IYC2025)に定め、持続可能な開発における協同組合の貢献を評価するなど、協同組合に対する社会からの期待は高まっている。一方、世界的な物価高騰による生産資材価格の高止まりが続く中、過疎化・高齢化が進み、営農が継続できるか危機的な状況にある。

改めて、国民に対し「農業協同組合(JA)の存在意義」の理解を求めていくことが重要である。こうした中で、JAグループが提供する価値(「食料・農業への貢献」、「組合員のくらし・地域社会への貢献」)について、提言いただきたい。

#### 一般研究課題

- ① 農業協同組合または協同組合に関するもの
- ② 協同組合教育の振興に関するもの
- ③ JA全国大会に関するもの

# 応募の締切

## <sub>和7年</sub> 6 月 20 日 (金)

#### 特別研究 一般研究 将来とも日本においてJAに関する研究を続 令和7年5月末日現在45歳未満の方で、将来とも 日本においてJAに関する研究を続ける見込みが ける見込みがある方であれば年齢にかかわら ある方。ただし、大学の教授およびこれと同等の ずどなたでも応募できます。 また、グループでの応募においてはJA職員 職位にある方は除きます。なお、JA職員の方は ●応 慕 資 格 年齢は問いません。 (JA関係研究機関職員を含む)として勤務 するまたは勤務した者を1名以上加えるこ また、令和2年度以降助成を受けた方は対象にな とを推奨します。 特別研究と一般研究を重複して応募することはできません。 審査の上、1件につき100万円以内の範囲で 審査の上、1件につき50万円以内の範囲で助成し ●研究助成額 助成します。 ます。

- ●選考の方法…本会に設置した委員会において厳正に選考します。
- ●選考結果の通知…日本協同組合連携機構から応募者へ個別に通知します。
- ●研究成果の公表…『協同組合奨励研究報告』に掲載します。

### 詳しくは『JA研究募集案内』をご覧ください。



●お申込みは/ (一社)日本協同組合連携機構 CI・国際・研究チーム 〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町11番地 飯田橋レインボービル5階 **3(6280)7254** HP http://www.japan.coop/ E-Mail kyodo@japan.coop